

2019年4月の主な出来事

中 国	日 中
1	2
2	3
3	4
4	5
5	6
	7
	8
	9
	10

	●マサチューセッツ工科大学は華為技術と中興通訊戸の許力関係を打ち切る方針を決めた。	10	用しない方針を決めた。 ●日本の死刑執行数が8番目に多かった。国別では中国が一番多い。 ●中国人の観光ビザをオンラインで申請できるようにし、来年4月には電子ビザも導入する。
6	●米政府は北京で開かれる「一带一路国際協力サミットフォーラム」に米政府高官の派遣をしないと決めた。 ●米中のワシントン閣僚級貿易協議が終了した。		
8	●3月の外貨準備高が5カ月連続増加したと中央銀行が発表した。 ●上海市人力資源・社会保障局は新たな法廷最低賃金を4月から適用すると発表した。 ●フィリピン大統領と外務省が南シナ海での領土権を巡り中国を批判した。	12	●在日中国企業協会と香港中華総商会在日中国大使館で戦略的協力覚書に調印した。 ●中国政府は産経新聞中国総局の記者に対し有効期限が短縮された記者証を交付し、産経新聞は中国外務省に抗議した。 ●防衛省は航空自衛隊の戦闘機が緊急発進した回数が昨年度999回に達し、特に中国軍機への発進が全体の6割を超えていたと発表した。
9	●中国人民銀行が3月末の外貨準備高は前月末に比べ90億ドル増加したと公表した。 ●欧州連合と中国は首脳会議をブリュッセルで開催し投資促進する協定を合意した。 ●中国電子情報博覧会が広東省深圳で始まった。 ●チベット仏教最高指導者ダライ・ラマ14世が肺感染症で入院した。	13	●河野太郎外相は北京外国語大学の北京日本学術研究センターを視察した。 ●高級ブドウ「シャインマスカット」などのプラン苗木が中国など海外に流出していることが分かった。
10	●李克強首相が国務院常務会議を主宰したと中国中央テレビが報じた。 ●中国とアラブ首長国連邦の貿易投資商談会がアブダビで開催されたと新華社通信が報じた。 ●広州省広州市従化区で重点プロジェクトが始動した。 ●ムニューシン米財務長官が中国との貿易協議で合意内容順守の枠組みについて大筋で一致したと米CNBCテレビで明らかにした。 ●中国鉄路総公司は新たなダイヤを発表し青島から北京を3時間以内で到着できるようになった。 ●中国国務院の馬曉光報道官は戦闘機侵入行為で台湾は反発していることについて無視する構えを示した。	14	●日中両政府は北京市で「日中ハイレベル経済対話」を開く。
11	●湖北自由貿易試験区（FTZ）が2月までに2万5622社が拠点を設置した。 ●世界銀行のマルパス総裁が中国への融資を縮小し低所得国の開発に重点を置く考えを示した。	15	●河野太郎外相が王毅外相と李克強首相と会談する。 ●外務省の金杉憲治アジア大洋局長が中国を訪問し朝鮮半島事務特別代表の孔鉉佑外務次官と会談した。
12	●米中両政府の通商交渉担当者がクラウドコンピューティング分野での譲歩を両国の通商合意に加えることをめぐり議論している。 ●中国企業が請け負ったスリランカ南部鉄道が正式に開通したと新華社通信が報じた。 ●2018年のIC産業の売上高が6532億円で12年～18年の平均成長率が20.3%だった。 ●第21回中国・欧州連合首脳会議でEUと高水準の投資協定を妥結した。 ●「中国アフリカ研究院」設立大会が北京市で開催された。 ●中国税関総署が今年1月～3月の貿易総額は前年同期比の1.5%減だった。 ●中国と東欧16カ国による首脳会議がクロアチアのドブロブニで開かれ李克強首相が参加した。	16	●安倍晋三首相が程永華駐日中国大使と公邸で昼食会を行った。 ●韓国外務省は日中外交を担当する部署を分離し「アジア太平洋局」に移す組織再編案を公表した。
13	●米中貿易協議で中国の為替操作の防止策を盛り込むことで一致したと米ウォール・ストリート・ジャーナルが報じた。 ●中国の影響力拡大を警戒する米国の反対を受け、国際通貨金融委員会（IMFC）は国際通貨基金（IMF）の増資を巡る結論を先送りした。	17	●日本政府がアジア開発銀行（ADB）に中国への新規融資終了を要請していることがわかった。 ●2018年度の貿易収支が3年ぶりに赤字だった。中国向けの金属加工機械や電子関連部門の輸出が減ったためとみられる。 ●日経平均株価は中国の景気が底を打ち好転する期待から前日比56円高の2万2277円で取引を終え今年初の5日連続で上昇した。 ●3月の訪日外国人は前年同月比5.8%増で3月としては過去最高だった。中国からの個人旅行者が増えた。 ●岩屋毅防衛相は中国をけん制する狙いで海上自衛隊の護衛艦「いずも」が7月にフィリピン・スービック港に寄港する方針を明らかにした。
15	●「中国国際工作機械見本市（CIMT）」が北京市で開かれる。20日まで。	18	●日本国際貿易促進協会の訪中団は北京の人民大会堂で中国の胡春華副首相と会談した。 ●日本工作機械工業会は中国から日本製の不当廉売の調査をうけている問題で中国商務部に意見書を提出した。 ●絶滅危惧種に指定されているニホンウナギの資源管理を関係する国や地域が議論する国際会議が東京都内で開幕した。台湾は出席する

	<ul style="list-style-type: none"> ●「中国輸出入商品交易会（広州交易会）」が広東省広州市で開幕した。 ●米国の台湾関係法成立 40 年を記念して台北で式典が開かれ、米ポール・ライアン前下院議長が出席し、蔡英文総統と会談した。 ●中国国防省は東部戦区の艦艇や爆撃機、偵察機などの海空戦力が台湾東方の海域で合同訓練を実施したと発表した。 ●習近平国家主席が胡春華副首相を同行し重慶市を視察した。 		<p>が中国は5年連続欠席した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●南シナ海に派遣される海上自衛隊の護衛艦「いずも」に水陸機動隊の隊員を乗艦させることを発表した。
16	<ul style="list-style-type: none"> ●「上海国際モーターショー2019」が上海市で開幕する。 ●米商務省は中国企業から輸入する自動車タイヤのホイールに対し最大 44%の反ダンピング関税を課す決定と発表した。 	19	●麻生太郎財務相はアジア開発銀行による中国向けの融資について「おかしい」と述べた。
17	<ul style="list-style-type: none"> ●中国国務省が「貯蓄型国債」の販売を拡大すると発表した。 ●中国工業情報省、国家広播電視総局、中央広播電視総台が「超高精細動画産業発展行動計画」を発表した。討を始めた。 ●1月～3月のGDPが前年10月～12月期から横ばいで成長率が下げ止まった。 ●米連邦通信委員会が中国移動の米国参入を認めない方針を明らかにした。 ●フィリピンのドゥテルテ大統領が南シナ海の領有権を巡り中国が威嚇的な行動に出たため中国に対し対決姿勢を示した。 	21	<ul style="list-style-type: none"> ●在任期間が歴代最長となる中国の程永華大使が離任する。 ●安倍首相が靖国神社に神前を供える真榊を奉納した。 ●3月の訪日客数が中国や東南アジアで伸びたため過去最高となった。
18	<ul style="list-style-type: none"> ●広東州市で「第125回中国輸出入商品行会」が開幕した。 ●ジャマイカと「シルクロード経済ベルトと21世紀の海のシルクロード建設の共同推進に関する中国とジャマイカ政府の了解覚書」に調印した。 ●中国の新車生産・販売台数が1月～3月の前年同期比より減少した。 ●WTOの紛争処理小委員会は中国に穀物紛争で米側の勝訴とする判断を下した。 	22	<ul style="list-style-type: none"> ●上海市で「日中資本市場フォーラム」の初会合が開かれ、日中両政府は上場投資信託（ETF）の相互上場で正式に合意した。 ●海上自衛隊トップの山村浩海上幕僚長が青島を訪問し中国海軍70周年の行事に参加する。また、中国海軍トップの沈金竜司令官と会談し人的・部隊間交流を再開することで一致した。 ●中国などアジアでのアフリカ豚コレラ発生を受け、農林水産省は肉製品の持ち込み対応を強化した。
19	<ul style="list-style-type: none"> ●第1四半期の日金融直接投資は252億ドルの人民元建てで前年同期比の4.8%増だった。また中央企業の営業収入は6.3%増だった。 ●米中両国が貿易協定を決着させる署名式を来月下旬の開催を目指していることが分かった。 ●マレーシア政府が中断していた中国企業と共同で開発する「バンドル・マレーシア」を再開すると発表した。 	23	<ul style="list-style-type: none"> ●3月の工作機械受注額によると中国向けの受注額が前年同月比の44%減だった。 ●海上自衛隊は中国の国際艦艇式で護衛艦「すずつき」を派遣する。自衛艦旗の「旭日旗」を掲げての入港を習近平が認めた。 ●尖閣諸島周辺の領海外側にある接続水域で中国海警局の船4隻が12日連続で確認された。
20	●中国北京で始まる「北京国際園芸博覧会」にバチカンが参加する。	24	<ul style="list-style-type: none"> ●自民党二階幹事長が24日～29日まで訪中する。安倍首相が習近平宛てに親書を託した。 ●自民党二階幹事長が北京で習近平国家主席と会談し、6月のG20に習氏が訪日すると明言した。
22	●中国政府が新エネルギー車のメーカーに対する補助基準などを改訂した。	25	<ul style="list-style-type: none"> ●二階俊博幹事長が上海市で同市トップの李強・市共産党委員会書記と会談した。 ●中国で日本企業の会社設立が40%増だったと明らかにした。 ●台湾の前行政院長の頼清徳氏が日本メディアに「一国二制度は阻止する」と語り「日本と台湾は運命共同体」と述べた。 ●外務省が北朝鮮籍のタンカーが東シナ海の公海上で「瀬取り」を行った疑いがある事案2件中1件で中国の地名が書かれていた船舶が関わっていたと中国に伝えた。 ●「装いの横浜チャイナタウン華僑女性の服飾史」が横浜ユーラシア文化館で開かれている。 ●杭州市で日本の代表的なアニメや漫画を紹介する展示会が開幕した。
23	<ul style="list-style-type: none"> ●原発の発電設備容量（停止中含む）で、中国が日本を初めて抜き米仏に次いで3位だった。 ●商用ロケットの製造や試験飛行などを規制する規則を発表することを明らかにした。 	26	<ul style="list-style-type: none"> ●日中韓とASEANは円と元を金融危機時に融通し合う通貨にする検討に入った。 ●産業ロボットの受注額が3割減となった。中国向けが大幅ダウンだった。 ●二階俊博幹事長が「一路一帯」のフォーラム
24	<ul style="list-style-type: none"> ●福建省晋江市で「第21回中国（晋江）国際靴業および第4回国際スポーツ産業博覧会」が開催された。 ●国務院は李克強首相の常務会議を開き小規模・零細企業の資金調達コストを引き下げる措置を確定し金融支援を拡大する方針を務めた。 		
25	<ul style="list-style-type: none"> ●「一帯一路」の第2回国際協力フォーラムが北京で始まる。 ●パキスタンのカーン首相が訪中し、一帯一路フォーラムに 		

	<p>出席する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ベトナムのグエン・スアン・フック首相が「一帯一路」フォーラムに出席する。 ●習近平国家主席とフィリピン・ドゥテルテ大統領が会談した。 ●中国輸出入銀行の張青松副董事長兼総裁が「一帯一路」の融資残高は1兆元を超えると明らかにした。 ●中国の1月～3月期の不動産開発投資額が前年同期比12%増だった。 ●2018年の中国のデジタル経済の規模は31兆元に達したと中国情報通信研究院が発表した。 		<p>で講演し、中国を評価した。</p>
		28	●二階俊博幹事長が胡春華副首相と北京で会談し、食品輸入規制などについて意見交換した。
		29	●二階俊博幹事長がG20首脳会議に出席する習近平国家主席に関し国賓として再度の来日を要請したことが明らかになった。 ●中国外務省の耿爽副報道局長が天皇陛下について「日中発展に貢献した」と述べた。
		30	●「令和」に関連した商標登録申請が相次ぎ、中国商標局によると申請件数は1276件に達した。
26	<ul style="list-style-type: none"> ●「一帯一路」をテーマにした国際会議が閉幕した。 ●習近平国家主席とロシアのプーチン大統領が北京で会談した。 ●ドイツ人口機能センターが上海市普陀区で「中独 AI インキュベーション加速センター」のプレート除幕式を行った。 ●シンガポール政府観光局はアリババグループと3年間の協力に関する覚書に調印した。 ●天安門事件の資料を展示する「六四記念館」が香港で再オープンした。 		
29	●中露の海軍が4/29～5/4の日程で、中国山東省青島沖の黄海で定例の合同軍事演習「海上連合-2019」を実施した。		
30	<ul style="list-style-type: none"> ●米中閣僚級貿易協議を再開する。 ●習近平国家主席が北京の人民大会堂で行われた五・四運動100周年記念大会で演説した。 		